学校だより

翔　　空

№３０　平成２４年１１月１３日（火）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、**希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願い**を込めて、翔空の碑ができた。

［甲状腺検査について］

昨日（月曜日）、朝から午後２時頃まで、県立医大の放射線医学県民健康管理センターにより「甲状腺検査」が本校の３Ｆで実施されました。ほとんど全員が受診することができました。結果は、後ほど（約１ヶ月後）各家庭に通知されます。それまでお待ちください。

【11月14日音楽学習発表会】

今週水曜日に郡山市民文化センターにて、「郡山市音楽発表会」が開催されます。

本校からは、翔空祭で最優秀賞を獲得した３年１組が参加します。あの時の感動をもう一度味わいたいと思います。過日、３年１組保護者には案内文が届いているかと思います。午後２時以降の発表となります。お時間の許す方は、足を運んで頂ければ幸いです。

【いろはがるた第５弾】

今回のいろはがるたは、**「良薬は口に苦し」**です。よく聞く言い回しですね。

その意味は、「文字通りは、良く効く薬は口ににがく、なかなか飲みにくい」なのですが、転じて「素直に受けにくい忠言・忠告ほどわが身のためになる」といった身につまされる意味を持っています。

「目標を新たに設定しましたか？」

～最近、生徒の様子から感じること～

今回は、つれづれなるままに私が気づいたことを４つほど述べてみたいと思います。（先週発行お休みでした）

まず１つ目、バドミントン部男子の活躍についてです。ご存じの通り、本校バドミント部男子は、市の新人戦大会で優勝してからというもの、快進撃を続け、県中大会でも入賞し、県大会に出場することができました。これは、本校にとって近年にない快挙です。県大会では、惜しくも１回戦の原町三中との戦いに（１－２）で負けてしまいましたが、私が思うに、これから冬場の鍛え方でどんどん上位をねらえるチームに育ってくれるのではないかでしょうか。足腰をもう少し強くし、試合運びをさらにマスターして来年度、本番の中体連でまた優勝してくれることを願っています。そのためには、老婆心ながら、さらに団結力のあるチームづくりや練習メニューの入れ替えが必要かと思います。

次に２つ目、１学年通信（１１月２日付第２４号）にも掲載されていましたが、「目標もなく何となく学校生活を送っている生徒」が翔空祭後に多く見られます。特に、１・２年生は、部活動や学習において自分なりの目標を立て、頑張らせてください。先生方もそれを支援して参ります。なお、３年生には目の前に進路という大きな目標が立ちはだかっていますので、多少緊張感を感じるようになりました。

３つ目。保健室の宇佐美先生が出してくださった「朝食摂取率」についてですが、本校は平均して約 90％と低いことが心配です。各学年ごとみると「毎日朝ご飯を食べてくる」と回答した者が１年が 89.5％２年が 88.1％、そして３年が 93.1％。その理由として、「食欲が出ない」や「食べる時間がない」などですが、起床時間が遅いことが原因の一つではないかと危惧しています。生活サイクルの根本的な見直しをすべき時期だと感じます。

最後４つ目は、１学年の「修学旅行」についてです。保護者及び生徒への調査の結果、以下のようになりました。

○　行き先（目的地）：関西（京都）方面
○　交通手段：新幹線（東北及び東海道新幹線）
○　実施期日：平成２６年　４月中旬を希望

今後、業者入札などにかけた上で、保護者の皆様に具体的な案が示されるものと思います。

今年度、３学年と一緒に修学旅行に参加してみて、ぜひ体験型のプログラム（つまり、職業体験に相当するもの）を取り入れるべきだと考えています。最近、班別行動を多く取り入れた旅行が企画されていますが、特色が見られないのが気になります。何とか本校独自のあり方を探って欲しいと思います。